

ひろの

議会だより



17億8000万円の大型補正

本格的な除染と復旧が始まる(12月補正)

⑤

新しい議会体制決まる(初議会)

⑧

町民の帰還へ向けた課題を徹底追求 4議員が町政を問う(一般質問)⑪

祝成人!ふるさとを胸に力強く羽ばたけ

(平成24年広野町成人式)

E-mail gikai@town.hirono.fukushima.jp

No.112

平成24年1月27日発行
福島県広野町議会

～愛する“ふるさと”を取り戻す～

除染対策費に6億3000万円

徹底した除染で 町民の安全と安心を求める



12月定例議会

平成23年第4回定例会を12月15日から16日までの会期で、約9ヶ月ぶりとなる広野町議場での開催となりました。

今回は、「広野町特定住所移転者に係る申出に関する条例の制定」をはじめ、一般会計・特別会計補正予算など、提出された12議案を慎重に審議し、すべて原案どおり可決いたしました。

なお、一般質問では4人の議員が、それぞれ町の対応や考えをいただきました。

議長あいさつ

新年のごあいさつ

広野町議会議長 鈴木紀昭



議長 鈴木 紀昭

新年明けまして、おめでとうございます。町民の皆様には、輝かしい希望に満ちた初春を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。

昨年、3月11日に発生したマグニチュード9.0という国内観測史上最大の巨大地震と、大津波等により、東北地方沿岸部をはじめ、東日本の広域にわ

たり、死者・行方不明者2万人を超える甚大な被害をもたらしました。特に私たちが生活する福島県において、福島第一原子力発電所による原子力災害は、今も収束しておらず、先行きの見通しが立たない状況にあります。

町民の皆様には、長引く避難生活を余儀なくされていますこと、心よりお見舞い申し上げます。今年こそは、平穏な年になりますよう、皆様とともに祈りたいものです。

12月定例会人事

監査委員

監査委員の任期満了にともない、現監査委員の小貫春夫氏を再任することに同意しました。任期は、平成23年12月22日から4年間です。



再任 小貫 春夫氏 (築地)

教育委員会委員

教育委員会委員に鯨岡祥子氏を再任することに同意しました。任期は、平成23年12月25日から4年間です。



再任 鯨岡 祥子さん (築地)

選挙管理委員会委員および同補充員

平成23年12月22日をもって任期満了となることから、新たに委員4人、補充員4人を選任しました。任期は4年間です。

選挙管理委員会委員

再任 遠藤健太郎氏 (大平) 新任 松本孝一氏 (鍋塚)
新任 大平与志夫氏 (中央台2丁目) 新任 大和田高男氏 (代)

選挙管理委員会補充員

内田明美さん (上原) 藁谷淳市氏 (新町)
高木敏子さん (小松) 坂本勝利氏 (正木内)

一般会計・特別会計合わせて

17億8000万円を追加計上

12月定例会

会計名	補正額	補正後の額
一般会計	15億8510万円	67億7284万円
国民健康保険特別	1億3153万円	7億2414万円
土地開発事業特別	0円	2282万円
公共下水道事業特別	492万円	13億9165万円
介護保険特別	5919万円	4億9141万円
後期高齢者医療特別	9万円	3873万円

● 主な内容 ●

<歳入>

公立学校施設災害復旧費負担金	1億 357万円
除染対策費補助金	6億6620万円
補助災害復旧事業債	3億7640万円

<歳出>

除染対策費	6億3312万円
学校施設原子力災害対策費	3億 88万円
公立学校等施設災害復旧費	1億7358万円
し尿塵芥処理費	3億7022万円

※金額は、全て万円未満を切り捨てて表示しています。

【12月補正予算】

12月定例会に提案された一般会計補正予算ならびに5つの特別会計補正予算は、主に一般会計の除染対策費のほか、原子力災害にともなう学校施設の空調設備設置に係る災害対策費などの計上でした。

▲空調設備が設置される教育施設

公告掲示場所を

湯本支所と町内7カ所の計8箇所に変更

広野町公告式 条例の一部を改正

原子力災害の発生で、多くの町民が町外に避難していることから、4月15日より、条例等告示の場所を当分の間、広野町役場湯本支所一カ所に設定していましたが、除染作業と復旧作業を本格的に進める中、町民の段階的帰還に合わせ、条例等の告示場所を広野町内と湯本支所の8カ所に変更されました。

また、この議案に関しては、※渡邊正俊議員の質疑において追加議案とすることが承認され、全会一致で可決されました。

※詳しくは、6Pの渡邊正俊議員の質疑に掲載しています。

町外住所移転者に 福島県と広野町の情報を提供

12月定例会



▲広野町サマーフェスティバル2010

広野町特定住所移転者に係る 申出に関する条例を制定

【概要】

町外に住所を移転している方のうち、福島県および広野町に関する情報の提供を希望される方（特定住所移転者）は、申出書に必要事項を記入のうえ提出いただくこととなります。

【提供される情報内容】

- 福島県や広野町が発行する広報紙等の送付
- 広野町で開催されるイベント等の開催案内

福島県人事委員会が引き下げ勧告

職員の給与等に関する 条例を改正

※福島県人事委員会の勧告内容を踏まえ、職員の給与に関する条例等が改正されました。改正の主なるものは、給料表、ならびに平成19年4月実施の給与構造改革における経過措置等の改正でした。これにより、病気の

ため退職した場合、当月分給与の全額が支給されていましたが、今後は、退職した日までの日割計算した額を支給することになりました。

また、平均月額で0.2%が引き下げられます。

※福島県人事委員会勧告

国および他の地方公共団体の職員の給与ならびに県内民間事業所の従業員の給与水準などについて毎年調査を行い、これらを均衡させる（民間準拠方式）ことを基本とします。

12月定例会 質疑

徹底した除染と復興に向けた 未来ある町づくりを要望

12月定例会の質疑では、除染作業における徹底した施工監理や費用の考え方、復興についてなど、議員からさまざまな意見や要望が出されました。その中の一部を紹介いたします。

除染の目標達成に向け 徹底した施工監理を

遠藤智議員 除染を進める際は、目標値をどのように達成し、現場でそれをどう監督していくかが求められます。

また、さまざまな記録やデータなどの徹底した管理も非常に大事ですが、今後どのようにして除染作業を進めていくのか。

松本除染対策グループリーダー 除染作業委託については、除染作業をする業者と、専門業者などの第三者が行う施工監理委託と別けて実施し、定点観測などをしながらデータを公表していきたいと考えています。



▲国による実証モデル事業のようす（役場前の芝生広場）

1戸当たりの除染費用は 70万円足りるのか

畑中天子議員 補正計上した除染費用の1戸当たり70万円という金額を上限として実施した場合、その経費を上回ってしまった場合はどう対応していくのですか。

松本除染対策グループリーダー 町では、モデル事業として実証試験を行い、正確にはどのぐらいの経費が必要か算定中ですが、当面はこの金額で事業を行っています。

また、除染作業を実施したうえで線量が下がらなかった場合は、新たな方法で除染を行うための除染費用を追加したいと考えています。



▲除染を兼ねた田んぼの除草作業

来年の作付け方針は いかに

渡邊正俊議員 当町の来年に向けた作付けはどのようなのかと、農家の皆さまには大変注目されています。

また、12月には各町村の生産量等が配分されるとありますが、現段階の作付け方針はどのようになるのか。

松本産業グループリーダー 4月に国が作付け制限をしてから現在まで、国・県からは24年の作付けについてや生産量等の配分についても、まだ何も示されていない状況です。

現状にそった条例改正を行え

渡邊正俊議員 平成23年4月15日に広野町公告式条例の一部を改正し、掲示場を当分の間湯本支所に変更しました。

本定例会が広野町で開催されたように、今後とも広野町で行事等の開催を計画しているのであれば、広野町にある7カ所の掲示場にも告示できるように、本議会において条例の改正を。

山田町長 町内7カ所と湯本支所の両方で告示できるように本議会において、広野町公告式条例の一部改正について追加提案をさせていただきます。



▲広洋台に設置されている掲示場

一日も早い分譲を

坂本紀一議員 町民の帰還に向け、今回の震災で家屋の倒壊や津波により流出された方々のために、大吹地区の宅地分譲を早期に実施し、新たな宅地造成を含めた検討をすべきではないですか。

中津企画グループリーダー 当議会で議決を頂ければ、早速工事に着手し、速やかに分譲できるように努めていきます。また、新たな宅地造成についても被災者が一日でも早く再建できるように検討していきます。



▲早期分譲が求められる宅地造成地（大吹地区）



▲一般住宅の除染作業が始まった中央台地区（国の実証モデル事業）

輝くふるさとの再生目指し 全力疾走

～新しい議会体制決まる～

初議会（第5回臨時会）

平成23年11月20日投票の広野町議会議員選挙により改選された初議会を11月25日に開催し、正・副議長選挙、総務文教、産業厚生、2常任委員会、議会運営委員会、広報委員会などの新しい構成が決まりました。

また、議員発議により「東日本大震災災害復興に関する特別委員会」の再設置についても、全会一致で可決しました。



▲議長選挙の投票のようす

議長に鈴木紀昭議員 副議長には渡辺久長議員がそれぞれ就任

議長選挙は、投票の結果、鈴木紀昭議員と渡辺正俊議員がそれぞれ6票づつの同票となり、抽選の結果、鈴木紀昭議員が新議長に就任しました。

また、副議長選挙は、投票の結果、塩史子議員4票、渡辺久長議員8票で渡辺久長議員が副議長に就任し、広野町議会の代表としてそれぞれの活躍が期待されます。

議長
鈴木紀昭



副議長
渡辺久長



総務文教常任委員会

総務課、町民課、税務グループ、教育委員会、その他の調査・審査を行う委員会です。

- 委員長 小磯利雄
副委員長 畑中 大子
委員 鈴木 紀昭
坂本 紀一
黒田 政徳
渡邊 正俊

産業厚生常任委員会

建設課、町民課、町民保健グループ・福祉環境グループの調査・審査を行う委員会です。

- 委員長 門馬 巧
副委員長 門馬 まりえ
委員 塩 史子
渡辺 久長
遠藤 智夫
北郷 幹夫

議会運営委員会

議会の運営を円滑に効率よく進めるための議長の諮問機関です。

- 委員長 坂本 紀一
副委員長 塩 史子
委員 渡辺 久長
門馬 巧
小磯 利雄

広報委員会

議会の活動状況をお知らせし、議会に関心を持って頂けるよう、読みやすく分かりやすい紙面づくりを目指します。

- 委員長 渡邊 正俊
副委員長 北郷 幹夫
委員 塩 史子
渡辺 久長
遠藤 智夫
畑中 大子
小磯 利雄

双葉地方 市町村圏組合議会

- 議員
鈴木 紀昭
渡邊 正俊
門馬 巧

双葉地方 水道企業団議会

- 議員
塩 史子
北郷 幹夫

議会選出監査委員

- 監査委員
黒田 政徳



追跡レポート

あの質問 どうなった？

議員の質問・提言に答える町執行部、その答弁がその後どうなったのか？ どう町政に反映させているのか、対応を追跡しました。

●平成23年9月定例会 ●一般質問

遠藤 智 議員 畑中 大子 議員

復旧・復興に向けての住民説明会を実施せよ

町の復興計画・除染計画には、十分に住民の意向を反映させなければなりませんので、そのための住民説明会を開催すべきではないですか。

説明責任を果たせ

復興、帰還に向けての取り組みが町民に伝わっていないため、住民説明会を開催すべきでないですか。

10月下旬を目標に開催する

町の復旧、復興には町民の協力が不可欠です。帰還時期を含め、10月下旬を目標に住民説明会を開催いたします。

住民説明会を5会場で開催

10月27日から11月1日までの4日間、いわき市と広野町で住民説明会が開催されました。

9月30日に、緊急時避難準備区域が解除されたことにもない、町の復旧計画などを説明し、町民の皆様の意見や要望を聞きました。



▲広野中学校体育館で行われた住民説明会

4人の議員が町政を問う

一般質問席

一般質問は、公の場である議会で、議員が議題に関係なく、町長の考え方や町政の執行状況について事実の説明を求めたり、所信を問いただすものです。

一般質問席（広野町議会議場）



遠藤 智 議員

仮置き場管理マニュアルを作成せよ

山田町長／冊子を作成し配布する

遠藤

仮置き場の使用・管理を適切に行うため、種類に応じた放射線量の基準設定や、定期的なモニタリング結果を公表することなどを定めた「管理マニュアル」を作成し、住民説明会を通して理解を頂くべきではないですか。

町長

周辺環境への影響を少なくするため、専門業者による定期的なモニタリングを実施し、結果についても広報等で定期的に公表していきます。

また、町民の理解と協力を頂くため、冊子を作成したので、全世帯に配布します。

駅東側地区の復旧・復興いかに

山田町長／あらゆる可能性を求めていく

遠藤

①津波により家屋が流出した町民に対し、今後どのような仮の住宅を提示するのですか。

②現在地に居住を希望する町民に対し安全対策はいかに行い、移転を希望する町民には、どのような施策を講じていくのですか。

町長

①町内に建設する仮設住宅は、木造タイプで、畳の部屋、暖房便座および二重サッシの設置についても県に要望しています。

②当該地域への居住希望者に対しては、高さ8・7メートルの防波堤にするともに、広野小高線の整備と防災緑地の多重防御によ

遠藤

り、津波被災地全域の安全対策を講じていきます。

また、移転希望者には、小規模団地大吹地区のほか公有地の活用を早急に検討していきます。

除染に関する基本条例を制定せよ

山田町長／新たな条例制定は考えていない

遠藤

避難生活から帰還し、健康で健全な生活をしていくために「除染に関する町基本条例」を制定すべきではないですか。

町長

広野町放射線物質除染実施計画は、1月に完全実施される「放射性物質汚染対処特措法」の法定計画と位置づけているため、新たな条例の制定は考えていません。

内部被ばく健康調査に努めよ

山田町長／身近で継続的に受診できるよう要望する

遠藤

町は、民間病院と契約を結び、町民が被ばく健康調査を受診できる機会を確保すべきではないですか。

町長

11月に平田村の医療機関と、内部被ばく検査の協定を結び、12月から受診できるようになりました。

また、身近で継続的に受診ができるよう町内への健診施設の整備を要望しています。

雇用の場を確保せよ

山田町長／積極的に取り組む

北郷

① 広野町工業団地内の企業の稼働率は、震災前と比較して、どうなっていますか。

② 除染業務に地元業者を参画させるべきではないですか。

③ 雇用の場を確保するために、国や県にどのような取り組みをしていますか。

町長

① 立地企業15社中、11社が操業を再開しています。が、各社とも建物や設備等が被災しており震災前の状況には至っておりません。



北郷 幹夫 議員

除染の実施工程を示せ

山田町長／近日中に周知する

北郷

10月から始まった幼稚園の除染をはじめとし、文教施設、公共施設、農地等の除染が実施されると思いますが、具体的な時期を示すべきではないですか。

町長

平成24年中の町民帰還を目指し、中央台地区等の除染モデル実証事業のほか、1月から上北迫地区および広洋台地区の除染を予定しています。

また、町全体の工程表については、広野町除染計画を作成し、「広報ひろの」の発送に合わせ周知いたします。



▲事業が再開された企業（広野町工業団地）

畑中

県の復興計画案では、福島原発の全基廃炉が明記されていますが、今後町の財政と雇用に、どう影響するかと考えますか。

また、原発廃炉と再生可能エネルギーを推進することは、必要不可欠と考えますが、町の復興計画でこのように位置づけられますか。

町長

原子力発電所の稼働にともなう町が得る交付金は、約1億5000万円、貴重な財産の一部であると考えており、雇用についても東京電力を始め、関連・協力企業など相当数が減少するものと考えています。

また、再生エネルギー特別措置法により、今後、民間等による再生可能エネルギー開発が活発に行われるもの

と大いに期待し、町としてもその可能性に前向きに検討していきます。

原発関連施設の移転を

山田町長／原発の状況を見据えて適切に対処していく

畑中

東京電力関連・協力企業の拠点基地や警戒区域へ一時帰宅するための中継基地が、町内に設置されていますが、一日でも早く移転させ、町民の不安を解消すべきではないですか。

町長

一時帰宅の中継基地となった中央体育館は、12月限りの使用許可としており、1月末には施設等も撤収することになっています。また、それ以外については、福島第一原発収束の状況を見ながら適切に対処していきます。

町の財政の見通しは

山田町長／地方債の借入は大幅に減額する見通し

北郷

震災の影響で、町民税・固定資産税・国民健康保険税などが減免され、町の収入が大きく落ち込むと思います。

不足分は、財政調整基金（預金）の取り崩しや、地方債（借金）で補われると思いますが、今後3年間の地方債の推移はどのようになっていくのですか。

町長

「震災復興特別交付税」により、地方債の借入は大幅な減額となり、一般会計の平成23年度末の地方債残高は、27億9400万円・平成24年度末は27億6900万円、平成25年度末で27億4400万円の見込みであり、特別会計においても大幅な減額が見込まれます。



▲未来を担う子どもたちの負担は少なく

除染費用と進行状況は

山田町長／国桌の補助を受けつつ進める

畑中

除染費用は、国が全面的な負担を約束しましたが、その後の状況と、12月初旬の除染状況について伺います。

町長

除染費用は、国からの補助金を原資として、県が造成した基金から交付されます。また、除染作業は、教育施設と国のモデル実証事業を中央台地区等で実施しています。次に、町職員については、除染アドバイザーの指導を受け、知識の習得に努めています。

医療費無料化の期間延長を

山田町長／国桌の補助を受けつつ進める

畑中

医療費無料化の期間は、2月29日までですが、避難生活が終わるまで延長し、医療費無料化を高校3年生まで拡大するよう国・県に要望すべきではないですか。

町長

緊急時避難準備区域が解除され、医療費無料化について各保険者で異なっており、期間延長の要望は現在していませんが、高校生以下の医療費無料化を国に要望しているところです。

原発廃炉と再生可能エネルギーを推進せよ

山田町長／前向きに検討する

畑中 大子 議員



【その他の質問】
畑中 仮設住宅の実態を把握せよ
町長 対応可能なものから改善してもらおう

専門医師による研修会の開催を

山田町長／継続的に開催してほしい

門馬 今後、町民の帰還を促していくため、放射線を正しく怖がり、正しく向き合うことが重要であることから、専門医師による講習会を開催してほしいべきではないですか。

町長 町はこれまで、除染アドバイザーによる勉強会や講座の開催と、広報紙等を通じて正しい情報を提供することに努めてきました。

今後、自ら正しい判断ができるように、専門家による研修会や講演会を継続的に開催していきます。



▲役場職員の放射能に関する勉強会

除染計画策定期間と線量マップを提示せよ

山田町長／早急に提示したい

門馬 町の除染計画策定期間と、詳細な線量マップを提示するべきではないですか。

タリング結果と線量マップを各家庭へ送付しています。



門馬まりえ 議員

町長 除染実施計画を早急に提示し、1月から計画に基づき効果的な除染を実施していきます。

また、線量マップについては、10月から11月にかけて実施した、居住用家屋周りのモニ

帰還への発令は考えているのか

山田町長／4月を目途に呼びかける

門馬 3月に、町民の安全を最優先に考え、避難指示が発令されましたが、今後、帰還に向けた発令を出す考えはありますか。

3月に、町民が達成する見通しで、本格的なインフラ整備や除染作業に着手している状況を総合的に判断し、町議会とも協議をしながら、広野に現場機能を回復させるなど、町民の皆様を迎える体制を整えた上で、平成24年4月を目途に帰還開始を呼びかけたかと考えています。

町長 避難指示を発令してから9ヶ月が経過しましたが、年内には原発事故収束に向けた「ステップ2」

下水道浄化センターの復旧建設工事は日本下水道事業団に委託

平成23年10月26日に第4回臨時議会を開きました。

ここでは、東日本大震災により壊滅状態となった下水道広野浄化センターの建設工事委託について、日本下水道事業団との協定を締結することに、全会一致で可決されました。



▲復旧が進む下水処理場



▲全町民の帰還が待たれる広野町

第5回臨時会

東日本大震災災害復興に関する特別委員会を再設置



平成23年11月25日に第5回臨時議会を開きました。

ここでは、昨年6月に設置した、「東日本大震災災害復興に関する特別委員会」は、11月の議員任期満了にもなっても自然消滅となりましたが、本特別委員会が担う役割の重要性と、目的を達成するため、議員発議により再設置されました。

- | | |
|--------|-------|
| 提出者 | 遠藤 智 |
| 賛成者 | 門馬 巧 |
| 北郷 幹夫 | |
| 【構成委員】 | |
| 委員長 | 遠藤 智 |
| 副委員長 | 渡邊 正俊 |
| 委員 | 坂本 紀一 |
| | 塩 史子 |
| | 渡辺 久長 |
| | 黒田 政徳 |
| | 門馬 巧 |
| | 北郷 幹夫 |
| | 畑中 大子 |
| | 小磯 利雄 |
| | 門馬まりえ |

第4回臨時会

着々と進む復旧事業



ま ちかど インタビュー

ふるさとへの帰還に向けての想い 9月30日緊急時避難準備区域が解除

3月11日に発生した大地震による大津波が起因して、福島第一原子力発電所の深刻な事故が発生してから10ヶ月が過ぎ、町は平成24年中の全町民の帰還に向けたライフラインの整備をはじめ、本格的な除染作業も開始しました。

そこで、町民の帰還に当たり、ふるさとへの思いや心配なこと、さらには、行政に望むことなどを伺いました。



根本 哲子さん
(下北迫・新町)

帰還を勧めるとのことですが、いかに除染をしたとしても、目に見えない放射能に対する不安や恐怖は消えません。

3月11日以来、避難を転々と続け、仮設住宅での生活を始めてから半年が過ぎ、その間広野町や我が家のことを考えない日はありませんでした。

町は、今年中に全町民の

地震だけで、あの原発事故さえなかったらと、それが悔しくてなりません。

孫たちが遊びに来て、母が縁側で日向ぼっこをしている平凡な日常が、この家庭にもある広野町に戻ることを痛切に望んでいます。



岡田 周造さん
(下浅見川・本町)

避難が長引くにつれ、地域や家族の絆が薄れていく気がして心配です。

まず、津波等で被災した世帯の住居を第一に、除染は言うまでもなく、学校・商店・医療機関等の再開とともに、若者たちが働ける場を創り出すことも重要なことと考えます。

さらには、双葉郡の南の玄関口としての地の利をいかし、他町村の人たちが定住できるように宅地造成をするなどの施策を講じ、魅力的な町づくりをしてほしいと思います。

編集後記

昨年は、かつて経験したことのない大地震、大津波、さらに重大な原発事故で避難生活を余儀なくされ、戦後最悪の年になってしまいました。

本年は辰年です。竜はとつても縁起の良い動物とされています。

た広野町議場で9ヶ月ぶりに開催されたことは、帰還に向け、力強く第一歩を踏み出したと感じました。町民の皆様の、幸多き「年」になりますよう、心よりお祈り申し上げます。
(北郷幹夫)

この新しい年に、我々議員は、町民の皆様のご指導とご支援のもと、我が町の復旧・復興に向け、新たな光をともし1年になるよう取り組んでまいります。

- 発行・編集責任者 議長 鈴木紀昭
- 副議長 渡邊正俊
- 委員長 北郷幹夫
- 副委員長 塩 史子
- 委員 渡辺久長
- 委員 遠藤 智
- 委員 畑中大子
- 委員 小磯利雄

次の定例会は3月です

